

科目区分	専門分野	教育内容	地域・在宅看護論
授業科目	地域・在宅看護論概論	単位数(時間)	1 単位(15 時間)
開講年次	1 年次前期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	☒ 有 ・ 無
目的: 地域で暮らす人々の生活や行われる看護の特徴を理解し、支援につなげる基礎的な能力を養う。 目標: 1 社会の変化と地域・在宅看護の意義を理解できる。 2 地域で暮らす人々の生活を理解し、健康との関連が理解できる。 3 地域で行われる看護の概要が理解できる。 4 地域・在宅看護に関する制度とその活用について説明できる。 5 地域・在宅看護の理念の基本事項・倫理について理解できる。			
回数	授業計画		授業準備と復習
1 6月5日(金) 3限目	1 地域における健康な暮らし 1)暮らしとは 2)暮らしと健康の関係 3)暮らしの中で健康を捉える 2 暮らしと地域 1)地域の定義 2)環境が生活に及ぼす影響		準備:シラバスをよく読み、科目の概要を調べておく。【自分の暮らし】を事前ワークシートに記入する。 4回目の授業に向けて、自分の暮らす市役所のパンフレットを貰ってくる。広報誌などを集めておく。 地域・在宅看護の基盤①P.14～20 を読んでおく。 復習:授業内容を振り返りまとめる。グループワークを通して学んだことをまとめる。
2 7月6日(月) 3限目	3 地域・在宅看護の基盤となるもの 1)地域・在宅看護とは 2)地域・在宅看護の対象 (個人・家族・集団・コミュニティ) 3)看護活動の場の広がり 4 地域での看護活動の変遷 5 地域・在宅看護の背景		準備:地域・在宅看護の歴史、法律や制度、概念を調べておく。地域・在宅看護の基盤①P.20～22 を読んでおく。 復習:授業内容を振り返りまとめる。
3 7月9日 (木) 2限目 レポート①	6 地域・在宅看護に求められる役割 7 地域・在宅看護活動に必要な基本理念 8 在宅看護の倫理的課題 1)在宅看護における権利保障 2)倫理的課題と自己決定		準備: かんごちゃんが高校生と行ってみた！～病院・訪問看護ステーション編～を読む。 復習:グループワークを通して学んだことを踏まえて、倫理的課題について考えたことをレポートにまとめる。
4 7月14日 (火) 3限目 グループワーク①	10 地域・在宅看護にかかわる法律と施策 1)介護保険・医療保険制度 2)地域・在宅看護に関わる法制度 9 地域包括ケアシステムと地域共生社会 1)地域包括ケアシステムと社会資源 2)地域での生活を支える組織活動 3)看護の継続性(療養の場の移行に伴う看護)		準備:地域包括ケアシステムの概要について調べておく。自分の暮らす市役所のパンフレットを貰ってくる。広報誌などを集めておく。グループワークの準備を整える。 復習:発表準備を整える。
5 7月24日(金) 3限目 発表① レポート②	発表 地域包括ケアシステムと地域共生社会 まとめ		準備:発表準備を整える。 復習:発表を聞いて学んだことをレポートにまとめる。

6 9月7日 (月)3限目 グループワーク②	11 訪問看護サービスのしくみと提供 1)訪問看護とは 2)訪問看護の創設と発展の経緯・現状 3)訪問看護制度(在宅看護に関わる制度とその活用) 4)訪問看護ステーションのしくみ (1) 開設基準と従事者 (2) 法に基づく訪問看護事業 (3) 訪問看護利用までの流れと費用 (4) 訪問看護サービス提供 12 多職種の機能と役割・協働・連携	準備:ビジュアル目で見える訪問看護 Vol.1 訪問看護とは】を視聴し、各映像付属の確認テストで満点を取る。 復習:発表準備を整える。
7 9月25日 (金) 3・4限目 発表② レポート③	13 看護職の役割 14 地域・在宅看護の動向と今後の展望	準備:発表準備を整える。 復習:地域・在宅看護について学んだことをレポートにまとめる。
	試験	
履修要件	履修規程 授業科目の履修等 第4条のとおり	
評価方法	筆記試験 課題レポート、グループワーク、演習参加態度等	
テキスト	医学書院 地域・在宅看護論(1) 地域・在宅看護の基盤 医学書院 地域・在宅看護論(2) 地域・在宅看護の実践	
参考文献	ピラールプレス 看護師のための地域看護学 ナーシンググラフィカ 地域在宅看護論① 地域療養を支えるケア	
履修上の留意事項	自分の暮らし、地域に目を向けて、予習・復習をして授業に臨み、グループワークは積極的な参加姿勢で臨むこと	
備考		

試験 (100 点) : 筆記試験 50 点 グループワーク 5 点×2 発表 5 点×2、学びのレポート 10 点×3

※授業スケジュールが変更になる場合があります。変更時には授業日程や内容、準備物などの詳細をお知らせします。

グループワーク 計10点

<評価の視点> グループワーク：私語なくワークに取り組めた／相手の話を聞くことができた／5W1Hで発言できた。／自分の言動が相手に及ぼす影響を考えられた／自己の意見を積極的に発言できた／全員に同じ内容がわかりやすく伝わるように工夫できた／積極的に意見を述べる事ができた／メンバーと協力しながらまとめた 10点：十分できた 8点：おおむねできた 6点：不足があるができた 4点：不足があった（指導を受けても修正が難しい）

発表 (計10点)

発表：他者にわかりやすく伝わる工夫できた／グループ間で協力して発表することができた／他者に分かりやすく伝わるように発表できた／チームワークを意識して自己の役割を遂行できた 10点：十分できた 8点：おおむねできた 6点：不足があるができた 4点：不足があった
--

学びのレポート（計30点）

- 10点：自己の学び（気づきや考え）が具体的に書かれている
- 8点：自己の学びの記載があるが、やや抽象的である
- 6点：事実のみで自己の学びの記載が少ない
- 4点：事実のみの記載で自己の学びの記載がない

※明確な理由のない提出遅れは-2点

※生成AIの使用不可

※誤字脱字に十分注意すること